



せんだん

学校教育目標

「進んで学び、心やさしく、たくましい児童の育成」

No. 7 令和6年7月8日 校長 松本 成浩

4月からの自分を振り返って点数を付けると、何点ぐらいですか？

7月の全校朝会で、子供たちに尋ねてみました。0点から100点まで、10点刻みで尋ねました。自分なりに点数を付けてくれましたが、大切なことは、低いからダメ、高いからよいということではなく、自分のことをしっかりと冷静に振り返ってみられるかどうかです。なぜ自分がその点数を付けたのか、理由があるはずです。そのことをよく考えて、夏休みまでの間に、1点でも2点でも上げられるように頑張ろうという話をしたところです。ほとんど自分への言い聞かせですが…。

ICT（パソコン）を活用したドリルタイム

パソコン等の活用について、一人一台端末の整備ということをご存知の方も多いと思いますが、二里小学校でも児童一人一人が自分用のタブレットパソコンを持っており、授業やドリルタイムなどで活用しています。よく言われることですが、パソコンはあくまで道具ですので、使うことだけではなく、何のために使うのかを見極めながら活用する必要があります。ドリルタイムでは、個々人にあったペースで、レベルに応じた問題に挑戦することで、他人との競争や比較ではなく、自分の今持つ力をベースに能力向上が図れます。学習の個別化という面で大きな力を発揮してくれます。目的に応じて上手に活用させていきたいと考えています。



3年生「食べ物のひみつをさがろう」

普段あまり意識することはないですが、私たちが生きていくために最も重要なものは、食べ物に他なりません。3年生が、「食べ物のひみつ」と題して、栄養教諭の先生から食べ物の色々な働きについて教えていただきました。赤、黄、緑のバランスが大事ですね。



6年生「防煙教室」

6年生で、たばこの害について学ぶ「防煙教室」を行っていただきました。学校薬剤師の先生から、様々な病気にかかるリスクが高まることや、たばこを吸っている本人だけでなく、周囲の人にも影響があることを教えていただきました。皆、真剣な表情でしたよ。

